

# きょういく武蔵野

### 主な内容

- ・平成20年度「全国学力・学習状況調査」の結果
- ・平成19年度東京都「児童・生徒の学力向上を図るための調査」の結果
- ・セカンドスクール、プレセカンドスクール
- ・中学校給食が始まりました
- ・むさしのサイエンスフェスタ2008
- ・市内中学校総合体育大会の結果

発行 ■ 武蔵野市教育委員会 編集 ■ 教育企画課 ☎0422-60-1894 〒180-8777 武蔵野市緑町2-2-28 http://www.city.musashino.lg.jp/cms/kyouiku/index.html

平成  
20年度

## 「全国学力・学習状況調査」の結果がまとまりました

### 1 調査の概要

#### (1) 目的

①全国的な義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、各地域における児童・生徒の学力・学習状況を把握・分析することにより、教育及び教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図る。

②各教育委員会、学校等が全国的な状況との関係において、自らの教育及び教育施策の成果と課題を把握し、その改善を図り、併せて児童・生徒一人一人の学習改善や学習意欲の向上につなげる。

#### (2) 実施時期

平成20年4月22日(火)

#### (3) 調査の対象学年

小学校第6学年、特別支援学校小学校部第6学年、中学校第3学年、中等教育学校第3学年、特別支援学校中学校部第3学年

#### (4) 調査内容

- ① 教科に関する調査  
主として「知識に関する問題〔国語A、算数・数学A〕」に付けておかなければ後の学年等の学習内容に影響を及ぼす内容を  
・ 実生活において不可欠であり、常に活用できるように  
なっていることが望ましい
- ② 生活習慣や学習環境に関する質問紙調査  
児童・生徒に対する調査  
学習意欲、学習方法、学習環境、生活の諸側面等に関する調査
- ③ 学校に対する調査  
指導方法に関する取組や人的・物的な教育条件の整備の状況等に関する調査

#### 知識・理解等 主として「活用」に関する問題〔国語B、算数・数学B〕

・ 知識・技能等を実生活の様々な場面に活用する力などにかかわる内容  
・ 様々な問題解決のための構想を立て実践し、評価、改善する力などにかかわる内容等

### 3 調査結果を受けた今後の対応

#### ◆ 学校の取組と対応

- ① 「教科に関する調査」結果を分析することにより、自校の学習指導上の課題と指導改善のポイントを明らかにして、2学期以降の授業の充実に向けています。
- ② 「児童・生徒に対する質問紙調査」結果を分析することにより、学習や生活に関する本市の子どもたちの意識や行動の実態を把握し、家庭と連携した望ましい学習習慣や生活習慣の育成を図ります。
- ③ 児童・生徒一人一人の学習上のつまずきや課題を把握し、個別の学習相談の機会に充実を図るとともに、放課後や土曜日等の「学習支援教室」の一層の充実を図ります。
- ④ 授業公開や保護者会等の機会を通して、自校の授業改善の取組状況に関する情報発信に努めます。また、保護者等への授業アンケートを工夫することにより、よりよい授業づくりに向けて保護者の方の意見集約に努めます。

### 2 調査結果の概要

#### 小学校第6学年

教科名	武蔵野市	東京都(公立)	全国(公立)
国語 A	76.4	68.5	65.4
国語 B	61.7	54.1	50.5
算数・数学A	79.0	74.2	72.2
算数・数学B	62.2	55.7	51.6

#### 中学校第3学年

教科名	武蔵野市	東京都(公立)	全国(公立)
国語 A	79.3	73.5	73.6
国語 B	68.8	61.4	60.8
算数・数学A	74.7	62.6	63.1
算数・数学B	58.9	48.9	49.2

全国的な状況について、文部科学省では、今回出題している学習内容に関して、知識・技能の定着に一部課題が見られ、知識・技能を活用する力に課題があると分析しています。

また同省では、20年度調査は、19年度と比べやや難しい内容となっており、各教科の平均正答率が低くなっていますが、過去の調査と同一の問題の正答状況等を踏まえると、学力が低下しているとはいえないとされています。

武蔵野市では、小6と中3の国語A及び小6の算数Aについては、平均正答率が75%を上回っており、相当数の児童・生徒が今回出題している学習内容を概ね理解していると考えられます。また、A「知識」問題及びB「活用」問題ともに、全国や東京都の平均正答率を4〜12ポイント上回っています。

しかし、全国の結果と同様な傾向が見られており、B「活用」問題については、A「知識」問題の平均正答率を10ポイント以上下回っており、「活用」能力の育成に課題があると考えています。

#### ◆ 教育委員会の取組

- ① 「教科に関する調査」結果を分析することにより、市立小中学校における学習指導の成果と課題を明らかにするとともに、各教科における指導上の改善事項をまとめ、学校訪問や授業力向上に向けた研修会等で適切な指導・助言に努めます。
- ② 「児童・生徒に対する質問紙調査」結果を分析することにより、市立小中学校の子どもたちの意識や行動の実態を明らかにし、望ましい学習習慣や生活習慣を育成するための、本市の取組の視点を明らかにします。
- ③ 「学習指導員やティーチングアシスタント」の一層の活用を図り、理解や習熟の程度に応じた少人数指導や課題別指導等の指導方法の工夫・改善を図ります。これにより、基礎的・基本的な学習内容の一層の定着と習熟を図るとともに、児童・生徒が知識・技能を活用する能力や態度の育成を図ります。
- ④ 教育委員会の広報やホームページ、また教育委員会主催の「むさしの教育フォーラム」「授業研究リーダー研修報告会」等の機会を通して、本市の学力向上の取組の成果などについて、保護者や市民の方々への積極的な情報発信に努めます。

平成19年度 東京都

「児童・生徒の学力向上を図るための調査」の結果について

小学校5年生、中学校2年生を対象に、東京都教育委員会による平成19年度「児童・生徒の学力向上を図るための調査」を実施しました。調査の内容と結果の概要を紹介し、調査問題の具体例をもとに今後の課題や授業改善のポイントをお伝えします。

評価の観点	小学校第5学年		中学校第2学年	
	武蔵野市	東京都	武蔵野市	東京都
問題を発見する力	82.7	77.2	83.6	81.9
見通す力	62.0	54.9	19.6	16.6
適用・応用する力	60.5	52.7	57.8	53.3
意思決定する力	65.0	58.3	83.2	79.2
表現する力	83.1	77.2	68.1	62.0
全 体	66.9	59.8	60.4	56.3

(平均正答率：%)

武蔵野市は、小学校5年生と中学校2年生のいずれも、全体の平均正答率は都の平均を上回っており、各観点別に見ても、それぞれ東京都の平均を概ね2ポイントから7ポイント程度上回っています。

特に、小学校5年生の「問題を発見する力」と「表現する力」、また、中学校2年生の「問題を発見する力」と「意思決定する力」については平均正答率が80%を上回っており、かなり良好な結果です。

一方、中学校2年生の「見通す力」については、都と同様に、平均正答率が20%を下回っており、題意を読み取り、情報を分かりやすく整理する力に関して、課題が見られました。このため、今後、与えられた情報を適切に整理しながら問題解決を行うような指導を意図的に計画的に行っていく必要があります。

1 調査の概要

(1) 調査の目的

各教科等で身に付けた知識や技能、思考力や判断力等を相互に関連付け、日常生活や学校生活などにおける問題場面において総合的に働くかどうか、その実現状況を把握し、指導方法の改善・充実に生かす。

(2) 実施時期

平成20年1月17日(木)

(3) 実施教科等

ア 学習に関する意識調査(※全員)  
イ 「確かな学力」の伸長を図るた

めの調査(※全員)  
・小学校第5学年、中学校第2学年  
年…問題解決能力等

ウ 「確かな学力」の定着を図るための調査(※抽出)

・小学校第4学年…国語、算数の基礎的・基本的な事項  
・中学校第1学年…国語、算数・数学の基礎的・基本的な事項

(4) 調査対象

都内公立小学校5年生  
1323校  
(8万9千256名、うち市内児童884名)  
都内公立中学校2年生  
634校  
(6万7千342名、うち市内生徒567名)

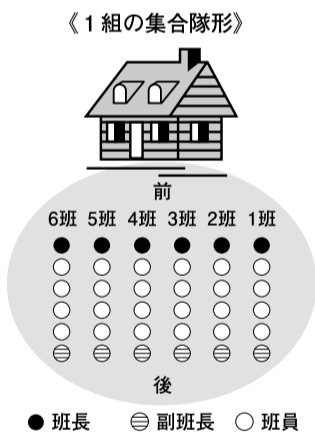
2 「確かな学力」の伸長を図るための調査結果の概要

3 東京都の調査問題から

● 中学校第2学年

【問題の概要】

2年生は明日、A公園で校外学習を行います。午前中の班行動の後、正午には各組の集合場所に集まります。そのときの集合隊形については、各組で学級委員が説明します。あなたが1組で説明するとしたら、どのように説明しますか。右の《1組の集合隊形》の図をもとにして、下の《説明の内容》の〔 〕に当てはまる最も適切な言葉を、30字以上、50字以内で書きなさい。なお、「、」や「。」などもそれぞれ字数に数えます。



《説明の内容》 「それでは、集合隊形」を説明します。  
ログハウスを正面にして、〔 〕

【問題解決の場面】

【評価の観点：表現する力】

校外学習の集合隊形について説明する場面において、図から内容等の情報を読み取り、思考力を働かせて情報を処理して適切に表現し、問題を解決する。

【結果】

(%)

	正答	1班が右側であることが不十分なもの	班の順番で並ぶことが不十分なもの	班長等の位置が不十分なもの	字数が30字未満のもの	その他	無解答
東京都	62.0	1.3	10.4	17.4	1.0	1.9	5.9
武蔵野市	68.1	1.2	9.7	14.8	0.7	1.9	3.5

【課題】 複数の情報を的確に読み取り表現することに課題があります。

【授業改善のポイント】

- ①非言語的な情報から内容を的確に読み取る指導の充実を図ります。
- ②相手や目的に応じて効果的に表現する活動の充実を図ります。

● 小学校第5学年

【問題の概要】

かずやさんたちのグループは、林間学校の飯ごうすいさんのときにカレーライスを作ることになりました。カレーの箱には次のように4皿分の材料が書かれていました。8皿分のカレーを作る時に200mlの計量カップで水を何カップ量ってなべに入れればよいのでしょうか。正しいものを次の①から④までの中から一つ選び、番号で答えましょう。

材料(4皿分)

カレールー	$\frac{1}{2}$ 箱(80g)
肉	160g
玉ねぎ	中 $1\frac{1}{2}$ 個(300g)
じゃがいも	中 $1\frac{1}{2}$ 個(225g)
にんじん	中 $\frac{1}{2}$ 本(100g)
サラダ油	大きさ $1\frac{1}{2}$
水	600ml(3カップ)

- ① 3カップ
- ② 6カップ
- ③ 8カップ
- ④ 12カップ

【問題解決の場面】

【評価の観点：適用・応用する力】

算数科で学習した、数量の関係を式で表すことや乗法・除法の計算を用いて、料理を作る時の材料の量について考え、問題を解決する。

【結果】

(%)

	1	2(正答)	3	4	その他	無解答
東京都	6.7	77.2	4.8	6.5	4.5	0.4
武蔵野市	4.9	82.7	4.8	4.1	3.1	0.6

【課題】

概ね良好ですが、複数の情報を比べて読み取ることが苦手な児童も一部に見られます。

【授業改善のポイント】

- ①児童が複数の情報を比較しながら読み取る活動の充実を図ります。
- ②設定する問題の意義について吟味・検討する活動の充実を図ります。



# セカンドスクール

市立小中学校18校で  
小学5年生・中学1年生を  
対象に実施しました。

## 第一小学校

《魚沼の豊かな自然と  
人々の温かさを感じて》

新潟県魚沼市  
9月25日(木)～10月2日(木)  
(7泊8日)

今年度から新潟県魚沼市に学びの場を移しました。豪雪地帯のこの地は、冬はスキー場として、そのほかの季節は、豊富な水を活かして稲作を行なっています。子どもたちは、この田園風景の中に宿し、仲間や第二のお父さんお母さんとともに8日間の生活を送りました。

# プレセカンドスクール

市立小学校12校で  
4年生を対象に実施しました。

## 関前南小学校

《東京のなかの自然とくらし》  
東京都檜原村  
9月17日(水)～19日(金)  
(2泊3日)

4年生対象のプレセカンドスクールでは、さまざまな体験活動

### ■農業体験

宿の方から説明を受けながら、稲刈り、はぎ掛け、脱穀、もみすり、精米をしました。初めて体験する子どもたちが多く、一つ一つの作業に一生懸命取り組みました。社会科で学習した「稲作農家の苦労」の一部を体験したり、単位面積あたりに生産される量を実感したりして、お米の大切さを改めて感じる事ができました。

### ■漁業体験

みんなで力を合わせて地引網をしました。捕れた魚はわずかで



地引網を体験



清流には様々な昆虫が

を通して、自然のすばらしさやそこに生きる人々の暮らしを知り、さらに集団生活で友達と協力し合う大切さなどを学びました。

### ■課題別学習

「米、自然、水、人と暮らし、歴史、産業」の6つのテーマに分かれて学習してきた子どもたちは、現地の方々に尋ねたり、現場を訪れたりして、事前の学習内容を深めました。

### ■第四小学校

《戸狩の豊かな自然に触れて》  
長野県飯山市戸狩  
6月6日(金)～13日(金)  
(7泊8日)

### ■農業体験(田植え)

自らの食について考える習慣や知識を身に付ける「食育」の観点

### ■水生昆虫観察

秋川上流の清流に棲む昆虫について現地講師から説明を受けました。それを生かして実際に探しつかまえ、武蔵野では見られない昆虫の生態を学びました。虫嫌いなどと言っていた子どもも、喜々として観察していました。

### ■林業体験

林業にかかわる方から山を守る苦労や喜びを聞き、その後杉林で下草刈りや除伐を行い、ほんの少しですがその大変さを実感しました。製材所では、丸い木が角材や

も踏まえて実施しています。子ども達は悪戦苦闘しながらも充実感いっぱい笑顔でした。

### ■林業体験

環境教育も踏まえて森林保護に力を入れた体験として間伐体験を実施しました。



間伐の様子

### ■民宿の方とのふれあい

「お父さん」「お母さん」と呼んで、本当の家族のように接してきた民宿の方々。どうしても別れはつらいものになりますが、このことが子ども達を大きく成長させたことでしょう。

板になっていく過程を見学しました。

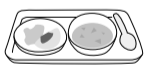
### ■都民の森ハイキング

雨天のため、三頭山ハイキングは途中の三頭大滝までとし、講師から森林の植生の違いや野鳥についての話を聞きながら歩きました。

### ■檜原小との交流

檜原小の4年生とグループをつくり、弘沢の滝見学や、全員ドッジボールをして楽しみました。同じ東京都でも地域により学校規模等に大きな違いがあることを知りました。

# 中学校給食が始まりました



11月から第二中学校で中学校給食が始まりました。今後、来年1月から第一中学校と段階的に開始し、平成22年度までに全6校で実施していきます。

## 中学校給食はこんな給食です。

給食か弁当を選べる選択制で、選択期間は1ヵ月単位になります。給食の調理は桜堤調理場が担当し、中学生の量にあわせ、小学校の給食より1品多い献立を提供します。今まで小学校給食で作ってきた、旬の食材をとり入れた献立、素材からの手づくり調理、化学調味料を使わない本物の味を大切にしながら、中学生向けのメニューを取り入れたおい

しい給食作りをしていきます。

給食に使う、食器や白衣、配膳ワゴンも、中学校用のものになります。食器は、ひとまわり大きいお椀が増え4種類の食器を使います。新しいデザインは、中学校6校の生徒会代表とデザイナーとで検討した、オリジナルデザインです。箸やスプーン、フォークも小学校よりひとまわり大きいものになりました。また、白衣も生徒会の代表と検討し、エプロンタイプのものを選定しました。



# 学校の耐震補強工事を実施しました



市では、学校施設が児童・生徒が一日の多くの時間を過ごす学習・生活の大切な場であり、また、防災拠点としての位置づけもあることから、優先して耐震化に取り組んできました。

すでに18年度までに2期に分けて必要な耐震補強工事を行ってきましたが、耐震性能基準の見直しにともない、改めて耐震診断を行い、耐震補強工事が必要になった学校施設について20年度より新たな工事を行っています。

工事の方法は、それぞれの状況に応じて、建物の柱や壁などの補強を行うものです。

20年度には夏休み期間を中心に、第二小学校東校舎棟・西校舎棟、第五小学校北校舎棟、第二中学校東校舎棟・西校舎棟の耐震補強工事を実施しました。

引き続き、21年度には、6校8校舎の耐震補強工事を予定しており、21年度末までにすべての学校で耐震性能基準を満たすこととなります。



# むさしのサイエンスフェスタ 2008

身近な実験や観察等とおして、子どもたちが科学の不思議さ・面白さを体験し、理科への関心や学ぶ意欲を高めてくれるよう、10月18日(土)に市立大野田小学校の体育館と校庭で「むさしのサイエンスフェスタ2008」を開催いたしました。

当日は、市内の小中学生や先生方、大学や企業、ボランティアの方々により38の実験ブースが出展されました。

子どもたちや家族連れ等の来場者や出展者を含め853名が参加し、ドライアイスや炭を使った実験等を実際に体験したり、火薬ロケットの発射を間近に見たりしながら、目を輝かせて楽しんでいました。



## これからの図書館のあり方について

図書館運営委員会において、図書館のあり方について協議いただきてまいりましたが、この度提言がまとまり、教育委員会に提出されました。詳しくは図書館ホームページ、または各図書館で配布している報告書をご覧ください。



## 平成20年度 市内中学校総合体育大会の結果

		優勝	二位	三位
バスケットボール	男	成蹊中学校	第二中学校	第六中学校
	女	第六中学校	第二中学校	第三中学校
バレーボール	女	成蹊中学校	藤村女子中学校	第二中学校
バドミントン	男	シ 聖徳学園中学校	第三中学校	
	女	2団	第三中学校	第一中学校
		1団	第三中学校	第一中学校
卓球	男	団 第三中学校A	第三中学校B	成蹊中学校A
	女	団 武蔵野女子学院中学校A	武蔵野女子学院中学校B	第三中学校
剣道(個人戦)	男	3年 第六中学校	成蹊中学校	聖徳学園中学校 聖徳学園中学校
	女	3年 第二中学校	成蹊中学校	
ソフトボール	女		藤村女子中学校	吉祥女子中学校
野球	男		成蹊中学校	第一中学校
	男		第一中学校	成蹊中学校B
ソフトテニス	男			第六中学校A 成蹊中学校A
	女		第四中学校A	第四中学校B
水泳	男		成蹊中学校	第四中学校
	女		第四中学校	成蹊中学校
サッカー	男		成蹊中学校	聖徳学園中学校
市内中学校陸上競技大会	男		第六中学校	第三中学校
	女		第六中学校	武蔵野女子学院中学校
テニス	男		成蹊中学校A	成蹊中学校B
	女		成蹊中学校	第二中学校



団：団体戦  
ダ：ダブルス  
シ：シングルス

## 教育委員の紹介



教育委員1名が新任、3名が再任されました。

市の5人の教育委員のうち4人の任期満了に伴い、市議会の同意を得て委員の任命が行われました。

見城武秀さんが新しく任命され、栃折暢子さんとみなみらんぼうさん、山上美弘さんの3人が再任されました。

見城武秀さんは、市社会教育委員や市NPO活動促進基本計画策定委員などを務められ、現在、成蹊大学文学部に准教授として勤務されています。

また、新委員長に栃折暢子さんが選出され、教育長に山上美弘さんが再任されました。

## 平成21年度 市立境幼稚園園児募集中!

入園を希望される方の申し込みをお待ちしています。

入園資格：平成16年4月2日～平成17年4月1日生まれ。境1～5丁目、桜堤1～3丁目、関前1丁目9・10番、5丁目に保護者と同居している子ども。

申し込み：午前9時～午後5時までに申込書(同園で配布中)と住民票(保護者と子どもが記載されたもの)を持って直接同園(境4-11-6 ☎54-1990)へ。

\*平成22年度以降について

市の長期計画に基づき、同園を①保育機能②幼児教育機能③子育て支援機能を果たす新しい施設とするため、園児募集は平成22年度までといたします。

### 教育委員会の会議(9月～11月)

定例会を3回開催しました。主な議決事項、協議事項、報告事項は次のとおりです。

- 議決事項：教育委員長・教育委員長の職務代理者の互選、教育長の任命、武蔵野市文化財保護委員の選任。
- 協議事項：境幼稚園の園児募集等について。

- 報告事項：平成21年度学校裁量予算編成、武蔵野地域五大学共同講演会の開催、武蔵野市教育基本計画(仮称)策定委員会の設置、武蔵野プレイス(仮称)の建設着工に伴う施設名称の公募等について、武蔵野市学校給食運営検討委員会の検討の経

過、武蔵野市における学校給食の安全性について、セカンドスクールの実施状況。

### 社会教育委員の会議(9月～11月)

9月と11月に月例会を行い、来年度の「生涯学習計画」策定に向けて、「生涯学習市民意識調査」や地域との連携について意見交換を行いました。

また、10月には東京都町村社会教育委員連絡協議会のブロック研修会や全国社会教育研究大会が行われました。ブロック研修会では「ネットワーク構築のための地域教育会議」をテーマとしたシンポジウムが行われ、その後、会場である東京農工大学の施設の視察がありました。